

漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査

福井県地域検討会報告書(案)

第 I 章 福井県坂井市地域における調査結果

目 次

第 I 章 福井県坂井市地域における調査結果

1. 調査の概要	1
1.1 目的	1
1.2 調査の実施期間	1
1.3 調査地域	1
1.4 調査構成	3
1.5 調査行程	4
1.6 調査の基本方針	6
1.6.1 調査・検討	6
1.6.2 安全管理	6
1.6.3 環境への配慮	6
2. 概況調査	7
2.1 目的	7
2.2 調査対象地域	7
2.3 調査実施時期	7
2.3.1 文献及びヒアリング調査	7
2.3.2 航空機調査	7
2.4 調査方法	7
2.4.1 ゴミに関する特性に係るヒアリング調査	7
(1) 過去の漂着ゴミの実態調査	7
(2) 漂着ゴミの回収処分体制の状況	7
2.4.2 漂着場の特性に係る文献調査	7
2.4.3 航空機調査（漂着状況の確認）	7
2.5 調査結果	10
2.5.1 文献及びヒアリング調査	10
(1) 漂流・漂着ゴミ対策の現状	10
a. 過去の漂着ゴミの実態調査	10
b. 漂着ゴミの回収・処分体制	22
c. 調査対象地域における漂流・漂着ゴミ対策の現状について	31
(2) 漂着場の特性	32
2.5.2 航空機調査	35
(1) 航空機調査から得られた漂着ゴミの分布状況	35
(2) 航空機調査結果から推定した福井県内の漂着ゴミ量	42
3. クリーンアップ調査	43
3.1 共通調査	43
3.1.1 目的	43
3.1.2 調査工程	43
3.1.3 調査方法	43
(1) 調査区域の設定	43
(2) 共通調査の対象範囲	44
(3) 回収・分類・集計方法	46
3.1.4 調査結果	49

(1) 地点別・季節別の変化（量）	49
(2) 地点別の変化（質）	53
(3) 季節別の変化（質）	56
(4) 他のモデル地域との比較	59
(5) モデル地域における比重	62
3.2 各モデル地域における独自調査	63
3.2.1 目的	63
3.2.2 調査工程	63
3.2.3 調査方法	63
(1) 独自調査の対象範囲	63
(2) 漂着ゴミの分類方法	64
(3) 漂着ゴミの回収・運搬・処分方法	65
3.2.4 各モデル地域における独自調査	66
(1) 回収	68
a. 回収の手法	68
b. 回収の効率	71
c. 今津川河口における回収	73
d. 東尋坊における漂着ゴミの回収	74
e. 掃除機による細かなゴミの回収	78
(2) 運搬	82
(3) 処分	82
a. 処分方法	82
b. ゴミの有効利用	82
4. フォローアップ調査	84
4.1 目的	84
4.2 調査方法	84
4.2.1 ゴミの空間分布及び時間変動の解析	84
(1) 水平方向の分布の解析	84
(2) 縦断方向の分布の解析	84
4.2.2 発生源及び漂流・漂着メカニズムの推定	84
4.3 調査結果	85
4.3.1 ゴミの空間分布及び時間変動の解析	85
(1) 水平方向の分布の解析	85
a. 漂着ゴミの水平分布の時間変動	85
b. 気象・海象条件との関連	91
c. 水位との関連性の検討	101
d. 対馬暖流の変動と関連性の検討	104
(2) 縦断方向の分布の解析	112
5. その他の調査	119
5.1 目的	119
5.2 調査構成	119
5.3 観光資源価値向上の検討に係る調査	119
5.3.1 調査内容及び目的	119

5.3.2	調査内容及び調査方法	119
5.3.3	調査設計	121
	(1) 調査設計	121
	(2) アンケート票の作成	122
5.3.4	調査結果	123
	(1) アンケートの結果	123
	a. 訪問頻度に与える影響	123
	b. 滞在日数に与える影響	126
5.4	定点観測調査	129
	5.4.1 目的・内容	129
	5.4.2 調査結果	129
	(1) 二の浜	130
	(2) 越前松島水族館前	138
5.5	九頭竜川流域ゴミ問題ワークショップ開催の検討	143
	5.5.1 目的	143
	5.5.2 調査内容	143
	5.5.3 九頭竜川流域ゴミ問題ワークショップの概要	145
	(1) ワークショップの位置づけ・目的	145
	(2) 開催日時及び会場	145
	(3) 主催	145
	(4) 共同呼びかけ人	145
	(5) 協力	146
	(6) 円卓着席者	146
	(7) プログラム	146
6.	検討会の実施	148

第 I 章 福井県坂井市地域における調査結果

1. 調査の概要

1.1 目的

漂流・漂着ゴミ問題については、我が国においては、国内起因のみならず、地域によっては外国からのゴミが大量に漂着しており、海洋環境の保全の面からの問題、たとえば良好な海浜景観の喪失、海洋生物等への影響の懸念等の問題が指摘されている。

漂流・漂着ゴミについて、より効果的な発生源対策や清掃運搬処理を進めるためには、漂着の状況と地域の特性をふまえた取組が必要であり、また、効率的な清掃方法の開発利用や関係者の参加・協力が重要である。このため、一定範囲のモデル海岸地域()について、地域全体の漂着ゴミの状況や地域特性について情報を収集し、対策のあり方を検討した。また、環境保全上の価値が高い海浜等について、クリーンアップ調査とフォローアップ調査により、効果的な清掃運搬処理の手法を検討し、もって、漂流・漂着ゴミ対策に資することを目的とした。

1.2 調査の実施期間

平成 19 年 7 月 6 日～平成 21 年 3 月 31 日

1.3 調査地域

本調査は、図 1.3-1 に示した 7 県 11 海岸におよぶ全モデル調査地域のうち、福井県坂井市三国町梶地先海岸～米ヶ脇地先海岸(約 9.5km)(図 1.3-2、図 1.3-3)において実施された。

対象地域は福井県の北部に位置し、日本海側に突き出た地形になっており、ゴミが漂着しやすい場所となっている。沖合を対馬暖流が南から北に向かって流れ、冬季には大陸方面からの北西の季節風が強い場所である。海岸線は、そそり立った断崖と礫浜によって構成されている。対象地域のすぐ南側には九頭竜川(一級河川)の河口が位置している。

対象範囲は名勝・東尋坊を中心に荒磯遊歩道、海浜自然公園、越前松島などを有し、年間約 300 万人が訪れる観光名所となっている。また、周辺は採貝・採藻の盛んな海域であり、「もみわかめ」(天然生わかめを天日干しし、手で揉みほぐしたもの)は東尋坊近海の名産となっている。

このように対象地域は観光及び漁業が盛んな地域であり、常に清潔さを求められる場所であること、またその一方で近年、外国製プラスチック容器や医療系廃棄物など安全性に問題があるゴミの漂着が目立っていること等が選定理由となり、本調査のモデル地域の一つとなった。今後は調査結果を清掃活動及びゴミの発生抑制に生かし、観光資源としての海岸の魅力や価値向上に資することが求められている。

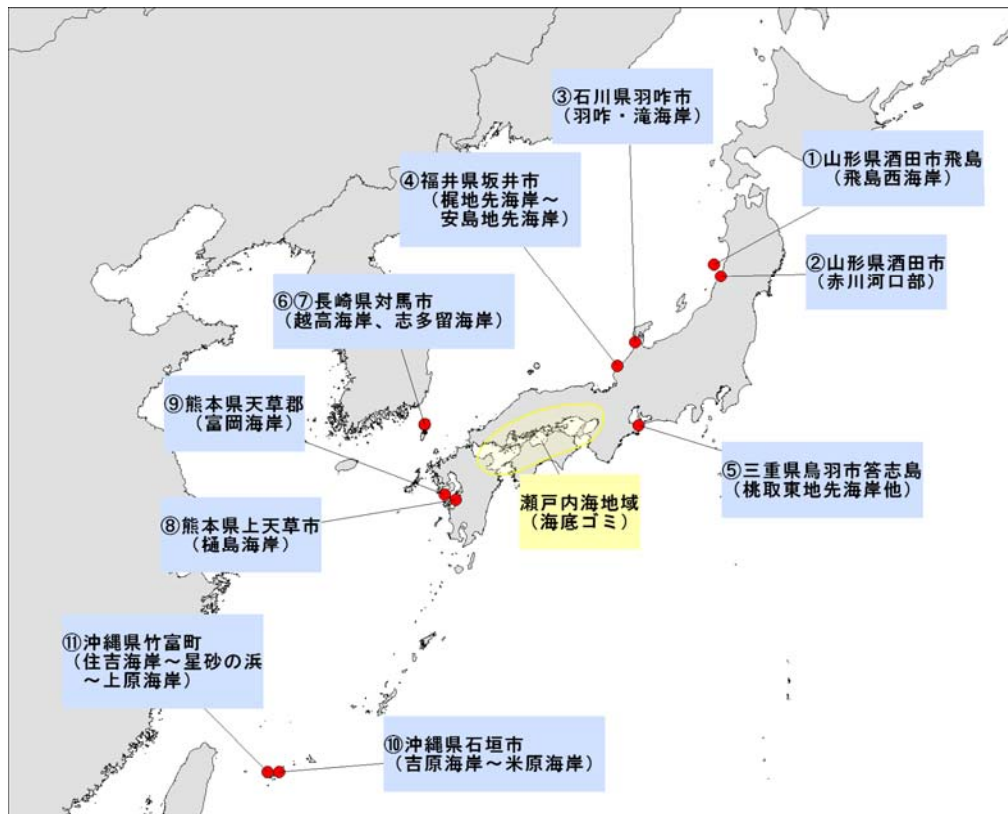


図 1.3-1 7 県 11 海岸におよぶ全調査地域の位置



図 1.3-2 福井県における調査範囲



図 1.3-3 調査範囲及び調査枠の設置位置 (□が調査枠の位置を示す)

1.4 調査構成

本調査は、以下の5項目の調査から構成されている。

- ①概況調査
- ②クリーンアップ調査
- ③フォローアップ調査
- ④その他の調査
- ⑤検討会の実施

漂流・漂着ゴミの削減方策に資するため検討すべき項目として、「現状把握」、「発生抑制」、「除去」、「漂着防止」に対する各調査項目の役割を示すと、図 1.4-1 のようになる。

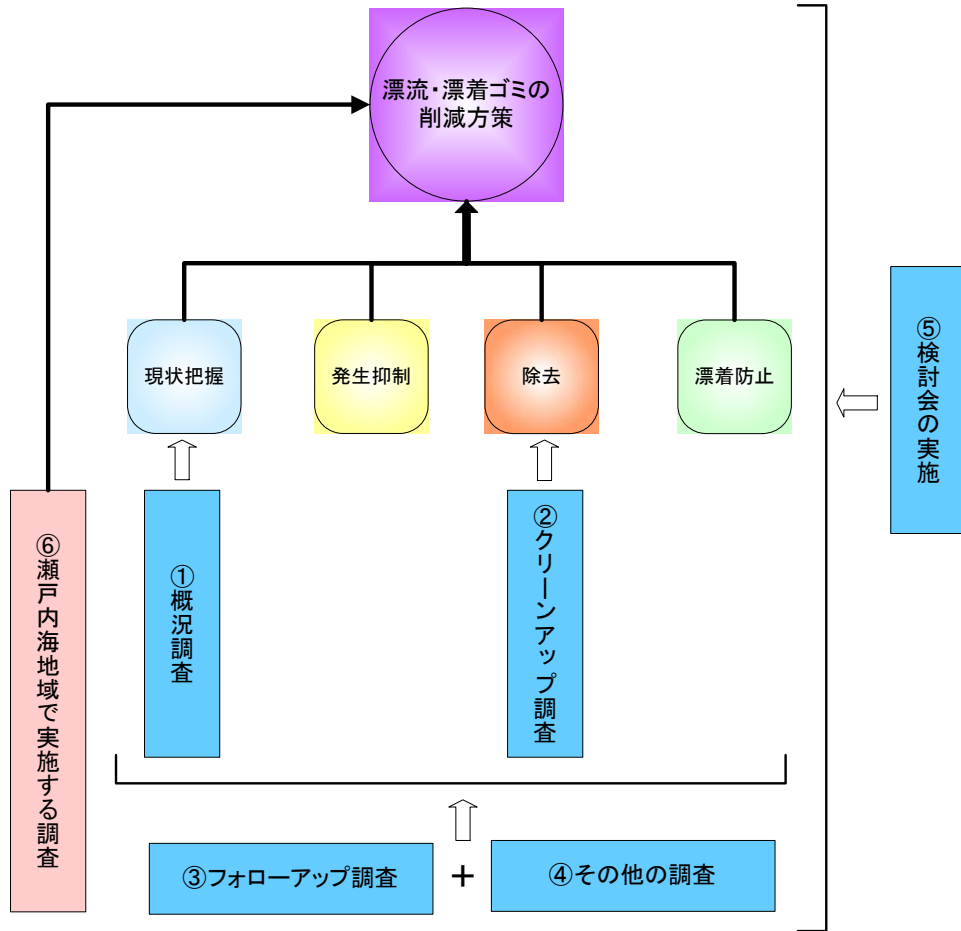


図 1.4-1 漂流・漂着ゴミ削減方策に資するための各調査項目の役割

1.5 調査行程

調査の工程を、表 1.5-1 に示す。

表 1.5-1 工程表

平成19年度	H19年7月	8月	9月	10月	11月	12月	H20年1月	2月	3月
概況調査	■								
クリーンアップ調査			■			■		■	
フォローアップ調査					■		■		■
その他の調査	■								
総括検討会		■ 第1回		■ 第2回					■ 第3回
地域検討会			■ 第1回			■ 第2回			■ 第3回
漂流・漂着ゴミ対策に関する 情報交換会								■ 第1回	

11

平成20年度	H20年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H21年1月	2月	3月
クリーンアップ調査	■		■			■						
フォローアップ調査			■		■		■					
その他の調査	■											
総括検討会			■ 第4回						■ 第5回		■ 第6回	
地域検討会			■ 第4回					■ 第5回			■ 第6回	
漂流・漂着ゴミ対策に関する 情報交換会										■ 第2回		

1.6 調査の基本方針

1.6.1 調査・検討

本調査では、各モデル地域の特性に応じた漂着ゴミの清掃運搬処理手法の検討及び漂流・漂着ゴミ対策の検討を行うため、地域担当者との緊密な連携のもと、各地域の特性及び懸念事項を正確に踏まえた上で、各種調査を実施する。

また、各調査の検討に当たっては、地域の特性に応じた検討を行うための「地域検討会」、全国的な視点から検討を行うための「総括検討会」の指導・助言のもとに実施する。

1.6.2 安全管理

本調査においては、一般市民が参加すること、重機等を使用すること、危険物（信号筒、ガスボンベ等）の回収が想定されることから、調査作業に関する手順書等を整備し安全管理を徹底する。特に医療系廃棄物については、「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」（感染性廃棄物処理対策検討会）に基づいて取り扱う。

1.6.3 環境への配慮

本調査の範囲に植生等がある場合は、植物類を引き抜かないよう、植生内にむやみに立ち入らないよう注意する。特に環境保全上の価値が高い動植物が確認された場合は、その取り扱いに留意する。また、調査範囲には国立公園及び国定公園等を含むことから、調査に際しては「自然公園法」等の法令を遵守する。

2. 概況調査

2.1 目的

本調査は、各モデル地域における漂着ゴミの分布状況、漂着ゴミの特性及び漂着場の特性について、既存データ、情報を収集し整理することで、モデル地域におけるクリーンアップ調査範囲の位置付け（代表性）を明らかにすることを目的とする。

2.2 調査対象地域

概況調査の対象範囲はモデル地域の海岸（調査範囲）と自然条件が同一と見なされる一連の海岸とし、福井県内の本土側海岸線とした。

2.3 調査実施時期

2.3.1 文献及びヒアリング調査

漂流・漂着ゴミに係る概況調査として、「漂着ゴミそのものの特性」と「ゴミが漂着する場所の特性」の2つに大別し（表 2.4-1）、それぞれに関係する要素について平成19年7月～20年3月にかけて、既存データ及び情報の収集・整理、関係機関へのヒアリングを行った。関係機関、また地域検討会において収集した資料を示し、地域検討員から意見を求めた。

2.3.2 航空機調査

漂流・漂着ゴミの漂着状況を確認するため、航空機による写真撮影を行った。福井県は2007年8月25日、26日に実施した。

2.4 調査方法

2.4.1 ゴミに関する特性に係るヒアリング調査

(1) 過去の漂着ゴミの実態調査

調査対象地域において過去5年程度の期間中における漂流・漂着ゴミに係る清掃活動（クリーンアップ活動）もしくは調査事例について、資料収集並びに関係機関に情報提供依頼・聞き取り調査を行い、活動事例の実施の時期・場所（範囲）・主催者・参加者・回収量・回収物の内容等の整理を行った。

(2) 漂着ゴミの回収処分体制の状況

調査対象地域を含む県内において漂流・漂着ゴミに係る回収処分を行う事業等の状況について、資料収集並びに関係機関に情報提供依頼・聞き取り調査を行い、漂着ゴミ回収処分事業の有無・事業の役割・作業分担等の整理を行った。

2.4.2 漂着場の特性に係る文献調査

漂流・漂着ゴミが流れ着く海岸線に固有な特性として、「漂着のメカニズムに関する条件」、「海岸の価値」及び「社会条件」の3つの視点から、既存文献並びにインターネット上の公表データ等の資料収集を行った。主な情報源は表 2.4-2 のとおりである。

2.4.3 航空機調査（漂着状況の確認）

航空機により調査対象地域11海岸線の写真撮影を行い、ゴミの漂着状況の確認を行った。撮影高度は約350mで、20～30cm以上のゴミの識別が可能である。撮影した写真を用いて海岸線方向に10mあたりの漂着ゴミ（20～30cm以上）の量をゴミ袋（20L）換算で「8袋以上」、

「1袋以上8袋未満」、「1袋未満」の3段階で評価し、地図上に表現した。

表 2.4-1 漂流・漂着ゴミに関する要素と必要な情報

大項目	中項目	小項目	細目	必要な情報	
ゴミに関する特性	実態調査	調査主体、組織	連携体制	主催者、参加者、市町村、NGO、ボランティアの役割 地元住民、漁業者との協力関係	
			各種手配	必要資材の品目、調達方法、費用	
		調査方法		コドラート法、写真撮影	
		調査結果	ゴミの総量及び種類別量	重量、容量、重量/面積（距離）等	
			発生源	国内、国外	
		処分・処理方法	リサイクル	リサイクルの有無と方法	
			現地処理	埋設、焼却、減容処理、その他	
			現地外処理	輸送方法（車両、船舶） 処分方法（焼却、埋設、その他）	
		その他	実施時における環境配慮	植生、昆虫などに対する保全対策	
		漂着ゴミの回収・処分体制	処分事業計画 清掃、回収、運搬、処分等に関する活動	連携体制	海岸管理者、市町村、NGO等、ボランティア、河川管理者、漁業者などの役割 地元住民との協力関係
	各種手配			必要資材の品目、調達方法、費用	
	回収方法			人力、機械など	
	処分・処理方法			リサイクルの実施と方法	
				現地処理（埋設、焼却、減容処理など）	
				現地外処理（受入可能施設） ・輸送方法（車両、船舶） ・処分方法（焼却、埋設など）	
	その他			活動時における環境配慮	植生、昆虫などに対する保全対策
	漂着場の特性			漂着のメカニズムに関する条件	流況
潮位差		潮位			
波浪		波高、波向			
風況		風速、風向			
地形		自然海岸	砂浜、干潟、岩礁		
		人工海岸	直立護岸、防災構造物、人工海浜		
		海岸線の形状	海岸の勾配 入り組み度、湾の向き		
河川		河口	河口の位置		
			河口からの距離		
			河川流量		
海岸の価値		自然的価値	貴重な生物		ウシガメの産卵場、貴重種、植生など
			貴重な地形、地質	鳴き砂、星の砂など	
			国立公園等	国立公園等の有無	
		歴史・文化的価値	景観	景勝地	
			歴史・文化的遺産	神社など	
		アメニティ	自然とのふれあい、親水性	レジャー、散策など	
			文化、伝統	祭りなど	
			観光資源	観光資源の有無	
			レクリエーション	海水浴、潮干狩り、釣り、マリンスポーツなど	
社会条件		海岸利用	港湾区域	港湾の位置	
			漁港	漁港の位置	
			防災（津波、高潮）施設	防災施設の位置	
		河川利用	流域人口	流域人口 流域市町村のゴミ処理量	
			管理	海岸管理者、河川管理者	
		漂流状況の確認	航空機調査	航空写真	調査範囲のゴミの漂流状況との比較

表 2.4-2 漂着場の特性に関する調査項目と主な情報源

項 目				検討に必要なデータ	位置図等情報源	数値データ等情報源
大項目	中項目	小項目	細 目			
漂着場の特性	漂着のメカニズムに関する条件	流 況		海流、潮汐流、沿岸流、海浜流	—	海流統計データ（海上保安庁 HP）
		潮位差		潮位	—	潮汐観測資料（気象庁 HP）
		波 浪		波高、波向	2006年平均波浪図（沿岸）	沿岸波浪統計値（気象庁 HP）
		風 況		風速、風向	—	日本気候表平年値（気象庁）
		地 形	自然海岸	砂浜、干潟、岩礁	沿岸域環境保全情報（海上保安庁 HP）	海岸調査報告書（環境省）
			人工海岸	直立護岸、防災構造物、人工海浜		
			海岸線の形状	海岸の勾配 入り組み度、湾の向き	地形図	
	河 川	河 口	河口の位置 河口からの距離 河川流量	河川海岸図	水文水質データベース（国交省 HP）、流量年表	
	海岸の価値	自然的価値	貴重な生物	ウミガメの産卵場、貴重種、植生など	脆弱沿岸海域図（環境省 HP） 自然公園地図	自然環境保全基礎調査（環境省 HP）
			貴重な地形、地質	鳴き砂、星の砂など		
			国立公園等	国立公園等の有無		
		歴史・文化的価値	景 観	景勝地	文化財地図	文化財目録
			歴史・文化的遺産	神社など		
		アメニティ	自然とふれあい、親水性	レジャー、散策など	観光ガイドマップ	—
文化、伝統			祭りなど			
観光資源	観光資源の有無					
レクリエーション	海水浴、潮干狩り、釣り、マリンスポーツなど					
社会条件	海岸利用	港湾区域	港湾の位置	港湾漁港図	—	
		漁 港	漁港の位置			
		防災（津波、高潮）施設	防災施設の位置	脆弱沿岸海域図（環境省 HP）		市町村データ一覧
	河川利用	流域人口	流域人口 流域市町村のゴミ処理量	河川海岸図	統計年鑑、廃棄物統計	
	管 理		海岸管理者、河川管理者	地域管内図	—	

2.5 調査結果

2.5.1 文献及びヒアリング調査

(1) 漂流・漂着ゴミ対策の現状

a. 過去の漂着ゴミの実態調査

調査対象地域において過去5年程度の期間中に実施された漂流・漂着ゴミに係る清掃活動（クリーンアップ活動）もしくは調査の事例は8事例であった。（表 2.5-1）これらの事例以外にも組織的・個人的な海岸の清掃活動が実施されていると考えられる。その実態についてまとまった資料は得られなかった。

当該地域では、近接する三国サンセットビーチでサーファーを参加者とする継続的な清掃活動が行われている。

平成17年には、福井県の漁業協同組合連合会の主催による“クリーンアップ福井大作戦”が三国港漁協で行われ、回収ゴミ総量410袋（一般ゴミ300袋、カン・ビンゴミ110袋）の清掃活動も行われている。

平成17年10月16日に三国町浜地海水浴場において回収された漂着ゴミの内訳は、①プラスチック類（93.4%）、②その他の人工物（5.3%）、③ゴム類（1.1%）であったという報告例がある。発生源国内外は国内（96.3%）となっている。

表 2.5-1 (1) 海岸漂着ゴミの回収処分事業に関する事例調査

<p>福井県坂井市 三国町梶地先～安島地先海岸</p>	
<p>【清掃活動実施日】 平成 17 年 10 月 16 日</p>	<p>【実施場所及び範囲】 三国町浜地海水浴場 1 列 4 区画 400m²</p>
<p>【活動の名称】 日本海・黄海沿岸の海辺の埋没・漂着物調査</p>	<p>【主催者及び後援者】 各自治体が市町村・NGO等の団体の協力を得て実施</p>
<p>【参加団体及び人数】 福井県環境政策課・廃棄物対策課、三国海洋少年団(13)</p>	<p>【回収されたゴミの量】 合計 3,238.0 g、132 個</p>

漂着ゴミの実態	実施体制の実態
<p>回収ゴミ総容量： 回収ゴミ総重量：3,238.0 g 回収作業の範囲：400m² 回収ゴミの内訳：809.5 g/100m² (100%)</p> <p>1. プラスチック類； 755.8 (93.4) 2. ゴム類； 9.0 (1.1) 3. 発泡スチレン類； 1.5 (0.2) 4. 紙類； 0.5 (+) 5. 布類； 0.0 (0) 6. ガラス陶磁器類； 0.3 (+) 7. 金属類； 0.0 (0) 8. その他の人工物； 42.5 (5.3) 9. その他(自然物)；</p> <p>発生源の内訳：3,238.0 g (100%)</p> <p>1. 国内； 3,117.0 (96.3) 2. 国外； 121.0 (3.7)</p>	<p>作業に要する連携体制： 1. 市町村の関与； 2. 民間団体の関与； 3. 民間企業の関与； 4. ボランティアの関与； 5. 地元住民の関与； 6. 地元学生の関与； 7. 漁業者の関与； 8. その他；</p> <p>回収に要する資材の手配： 1. 資材品目； 2. 調達方法； 3. 調達先； 4. 手配者； 5. 経費負担；</p> <p>回収に要する機材の手配： 1. 機械品目； 2. 調達方法； 3. 調達先； 4. 手配者； 5. 経費負担；</p>
ゴミ処理の実態	
<p>現地処理量： 1. 焼却； 2. 埋設； 3. 再利用； 4. 減容化；</p> <p>現地外処理量： 1. 搬出先； 2. 搬出方法； 3. 搬出量； 4. 処理方法；</p>	<p>回収に要する人材の手配： 1. 役割分担； 2. 作業主体； 3. 募集方法； 4. 手配者； 5. 経費負担；</p>
<p>環境配慮事項：</p>	

表 2.5-1 (2) 海岸漂着ゴミの清掃活動に関する事例調査

福井県坂井市 三国町梶地先～安島地先海岸	
【清掃活動実施日】 平成 16 年 6 月 9 日 平成 17 年 6 月 8 日	【実施場所及び範囲】 三国町浜地海水浴場
【活動の名称】 クリーンアップキャンペーン	【主催者及び後援者】 J E A N / クリーンアップ全国事務局が全国活動を集計 (後援：環境省・水産庁・海上保安庁・国土交通省)
【参加団体及び人数】 小島和則(64) 雄島小学校 5 年生(51)	【回収されたゴミの量】 不明

漂着ゴミの実態	実施体制の実態
回収ゴミ総容量： 回収ゴミ総重量： 回収作業の範囲： 回収ゴミの内訳： 1. プラスチック類； 2. ゴム類； 3. 発泡スチレン類； 4. 紙類； 5. 布類； 6. ガラス陶磁器類； 7. 金属類； 8. その他の人工物； 9. その他（自然物）； 発生源の内訳： 1. 国内； 2. 国外；	作業に要する連携体制： 1. 市町村の関与； 2. 民間団体の関与； 3. 民間企業の関与； 4. ボランティアの関与； 5. 地元住民の関与； 6. 地元学生の関与； 7. 漁業者の関与； 8. その他； 回収に要する資材の手配： 1. 資材品目； 2. 調達方法； 3. 調達先； 4. 手配者； 5. 経費負担； 回収に要する機材の手配： 1. 機械品目； 2. 調達方法； 3. 調達先； 4. 手配者； 5. 経費負担； 回収に要する人材の手配： 1. 役割分担； 2. 作業主体； 3. 募集方法； 4. 手配者； 5. 経費負担；
ゴミ処理の実態	
現地処理量： 1. 焼却； 2. 埋設； 3. 再利用； 4. 減容化； 現地外処理量： 1. 搬出先； 2. 搬出方法； 3. 搬出量； 4. 処理方法；	
環境配慮事項：	

表 2.5-1 (3) 海岸漂着ゴミの清掃活動に関する事例調査

福井県坂井市 三国町梶地先～安島地先海岸	
【清掃活動実施日】 平成 17 年 6 月 7 日	【実施場所及び範囲】 三国港漁業協同組合地区内の 3ヶ所
【活動の名称】 クリーンアップ福井大作戦	【主催者及び後援者】 福井県漁業協同組合連合会
【参加団体及び人数】 漁業者、漁業団体職員、県水産関係課職員 (35)	【回収されたゴミの量】 一般ゴミ：300 袋、カン・ビンゴミ：110 袋

漂着ゴミの実態	実施体制の実態
回収ゴミ総容量：410 袋 回収ゴミ総重量： 回収作業の範囲： 回収ゴミの内訳： 1. プラスチック類； 2. ゴム類； 3. 発泡スチレン類； 4. 紙類； 5. 布類； 6. ガラス陶磁器類； 7. 金属類； 8. その他の人工物； 9. その他（自然物）； 発生源の内訳： 1. 国内； 2. 国外；	作業に要する連携体制： 1. 市町村の関与； 2. 民間団体の関与； 3. 民間企業の関与； 4. ボランティアの関与； 5. 地元住民の関与； 6. 地元学生の関与； 7. 漁業者の関与； 8. その他； 回収に要する資材の手配： 1. 資材品目； 2. 調達方法； 3. 調達先； 4. 手配者； 5. 経費負担； 回収に要する機材の手配： 1. 機械品目； 2. 調達方法； 3. 調達先； 4. 手配者； 5. 経費負担； 回収に要する人材の手配： 1. 役割分担； 2. 作業主体； 3. 募集方法； 4. 手配者； 5. 経費負担；
ゴミ処理の実態 現地処理量： 1. 焼却； 2. 埋設； 3. 再利用； 4. 減容化； 現地外処理量： 1. 搬出先； 2. 搬出方法； 3. 搬出量； 4. 処理方法；	
環境配慮事項：	

表 2.5-1 (4) 海岸漂着ゴミの清掃活動に関する事例調査

福井県坂井市 三国町梶地先～安島地先海岸	
【清掃活動実施日】 平成 16 年 4 月 18 日 平成 17 年 4 月 24 日、9 月 25 日 平成 18 年 5 月 3 日、9 月 24 日	【実施場所及び範囲】 三国町三国サンセットビーチ
【活動の名称】 クリーンアップキャンペーン	【主催者及び後援者】 J E A N / クリーンアップ全国事務局が全国活動を集計 (後援：環境省・水産庁・海上保安庁・国土交通省)
【参加団体及び人数】 Nan's Sea & The Brue Surf Team(12) Nan's Sea & The Brue Surf Team(54, 27) Nan's Sea & The Brue Surf Team(88, 45)	【回収されたゴミの量】 不明

漂着ゴミの実態	実施体制の実態
回収ゴミ総容量： 回収ゴミ総重量： 回収作業の範囲： 回収ゴミの内訳： 1. プラスチック類； 2. ゴム類； 3. 発泡スチレン類； 4. 紙類； 5. 布類； 6. ガラス陶磁器類； 7. 金属類； 8. その他の人工物； 9. その他（自然物）； 発生源の内訳： 1. 国内； 2. 国外；	作業に要する連携体制： 1. 市町村の関与； 2. 民間団体の関与； 3. 民間企業の関与； 4. ボランティアの関与； 5. 地元住民の関与； 6. 地元学生の関与； 7. 漁業者の関与； 8. その他； 回収に要する資材の手配： 1. 資材品目； 2. 調達方法； 3. 調達先； 4. 手配者； 5. 経費負担； 回収に要する機材の手配： 1. 機械品目； 2. 調達方法； 3. 調達先； 4. 手配者； 5. 経費負担； 回収に要する人材の手配： 1. 役割分担； 2. 作業主体； 3. 募集方法； 4. 手配者； 5. 経費負担；
ゴミ処理の実態	
現地処理量： 1. 焼却； 2. 埋設； 3. 再利用； 4. 減容化； 現地外処理量： 1. 搬出先； 2. 搬出方法； 3. 搬出量； 4. 処理方法；	
環境配慮事項：	

表 2.5-1 (5) 海岸漂着ゴミの清掃活動に関する事例調査

福井県坂井市
三国町梶地先～安島地先海岸

【清掃活動の概要】



No.478 福井県坂井郡 三国サンセットビーチ
Nan's Sea & The Blue Surf Team

情報出典：「クリーンアップキャンペーンREPORT」（JEAN/クリーンアップ全国事務局）

表 2.5-1 (6) 海岸漂着ゴミの清掃活動に関する事例調査

福井県坂井市 三国町梶地先～安島地先海岸	
【清掃活動実施日】 平成 17 年 9 月 3 日	【実施場所及び範囲】 坂井郡三国サンセットビーチ
【活動の名称】 クリーンアップキャンペーン	【主催者及び後援者】 J E A N / クリーンアップ全国事務局が全国活動を集計 (後援：環境省・水産庁・海上保安庁・国土交通省)
【参加団体及び人数】 福井県生協連合会 (181)	【回収されたゴミの量】 不明

漂着ゴミの実態	実施体制の実態
回収ゴミ総容量： 回収ゴミ総重量： 回収作業の範囲： 回収ゴミの内訳： 1. プラスチック類； 2. ゴム類； 3. 発泡スチレン類； 4. 紙類； 5. 布類； 6. ガラス陶磁器類； 7. 金属類； 8. その他の人工物； 9. その他（自然物）； 発生源の内訳： 1. 国内； 2. 国外；	作業に要する連携体制： 1. 市町村の関与； 2. 民間団体の関与； 3. 民間企業の関与； 4. ボランティアの関与； 5. 地元住民の関与； 6. 地元学生の関与； 7. 漁業者の関与； 8. その他； 回収に要する資材の手配： 1. 資材品目； 2. 調達方法； 3. 調達先； 4. 手配者； 5. 経費負担； 回収に要する機材の手配： 1. 機械品目； 2. 調達方法； 3. 調達先； 4. 手配者； 5. 経費負担； 回収に要する人材の手配： 1. 役割分担； 2. 作業主体； 3. 募集方法； 4. 手配者； 5. 経費負担；
ゴミ処理の実態	
現地処理量： 1. 焼却； 2. 埋設； 3. 再利用； 4. 減容化； 現地外処理量： 1. 搬出先； 2. 搬出方法； 3. 搬出量； 4. 処理方法；	
環境配慮事項：	

表 2.5-1 (7) 海岸漂着ゴミの清掃活動に関する事例調査

福井県坂井市 三国町梶地先～地先海岸	
【清掃活動実施日】 毎年3月下旬～4月上旬、9月中旬(安島自治会)	【実施場所及び範囲】 三国町梶地先～米ヶ脇地先
【活動の名称】	【主催者及び後援者】 梶、崎、安島、米ヶ脇地区の自治会
【参加団体及び人数】 梶自治会(約 名)、崎自治会(約 名)、 安島自治会(約 300名)、米ヶ脇自治会(約 名)	【回収されたゴミの量】 不明

漂着ゴミの実態	実施体制の実態
回収ゴミ総容量： 回収ゴミ総重量： 回収作業の範囲： 回収ゴミの内訳： 1. プラスチック類； 2. ゴム類； 3. 発泡スチレン類； 4. 紙類； 5. 布類； 6. ガラス陶磁器類； 7. 金属類； 8. その他の人工物； 9. その他（自然物）； 発生源の内訳： 1. 国内； 2. 国外；	作業に要する連携体制： 1. 市町村の関与； 2. 民間団体の関与； 3. 民間企業の関与； 4. ボランティアの関与； 5. 地元住民の関与； 6. 地元学生の関与； 7. 漁業者の関与； 8. その他； 回収に要する資材の手配： 1. 資材品目； 2. 調達方法； 3. 調達先； 4. 手配者； 5. 経費負担； 回収に要する機材の手配： 1. 機械品目； 2. 調達方法； 3. 調達先； 4. 手配者； 5. 経費負担； 回収に要する人材の手配： 1. 役割分担； 2. 作業主体； 3. 募集方法； 4. 手配者； 5. 経費負担；
ゴミ処理の実態	
現地処理量： 1. 焼却； 2. 埋設； 3. 再利用； 4. 減容化； 現地外処理量： 1. 搬出先； 2. 搬出方法； 3. 搬出量； 4. 処理方法；	
環境配慮事項：	

表 2.5-1 (8) 海岸漂着ゴミの清掃活動に関する事例調査

<p>福井県坂井市 三国町浜地海岸</p>	
<p>【清掃活動実施日】 平成 20 年 4 月 27 日</p>	<p>【実施場所及び範囲】 三国町浜地海岸</p>
<p>【活動の名称】</p>	<p>【主催者及び後援者】 三国ロータリークラブ J E A N / クリーンアップ全国事務局が全国活動を集計 (後援: 環境省・水産庁・海上保安庁・国土交通省)</p>
<p>【参加団体及び人数】 三国ロータリークラブ、地元住民 (合計 120 名)</p>	<p>【回収されたゴミの量】 ペットボトルやビニール、プラスチック、空き缶など、ゴミ袋で 120 袋以上</p>

漂着ゴミの実態	実施体制の実態
<p>回収ゴミ総容量： 回収ゴミ総重量： 回収作業の範囲： 回収ゴミの内訳： 1. プラスチック類； 2. ゴム類； 3. 発泡スチレン類； 4. 紙類； 5. 布類； 6. ガラス陶磁器類； 7. 金属類； 8. その他の人工物； 9. その他 (自然物)； 発生源の内訳： 1. 国内； 2. 国外；</p>	<p>作業に要する連携体制： 1. 市町村の関与； 2. 民間団体の関与； 3. 民間企業の関与； 4. ボランティアの関与； 5. 地元住民の関与； 6. 地元学生の関与； 7. 漁業者の関与； 8. その他； 回収に要する資材の手配： 1. 資材品目； 2. 調達方法； 3. 調達先； 4. 手配者； 5. 経費負担； 回収に要する機材の手配： 1. 機械品目； 2. 調達方法； 3. 調達先； 4. 手配者； 5. 経費負担； 回収に要する人材の手配： 1. 役割分担； 2. 作業主体； 3. 募集方法； 4. 手配者； 5. 経費負担；</p>
<p>ゴミ処理の実態</p>	
<p>現地処理量： 1. 焼却； 2. 埋設； 3. 再利用； 4. 減容化； 現地外処理量： 1. 搬出先； 2. 搬出方法； 3. 搬出量； 4. 処理方法；</p>	
<p>環境配慮事項：</p>	

表 2.5-1 (9) 海岸漂着ゴミの清掃活動に関する事例調査

福井県坂井市
三国町浜地海岸

【清掃活動の概要】



清掃活動の様子

情報出典：越前松島水族館(私信)

表 2.5-1 (10) 海岸漂着ゴミの清掃活動に関する事例調査

<p>福井県坂井市 三国町浜地海岸</p>	
<p>【清掃活動実施日】 平成 20 年 6 月 22 日</p>	<p>【実施場所及び範囲】 三国町浜地海岸</p>
<p>【活動の名称】</p>	<p>【主催者及び後援者】 越前松島水族館</p>
<p>【参加団体及び人数】 地元の親子(合計 30 名)</p>	<p>【回収されたゴミの量】 ペットボトルやビニール、プラスチック、空き缶など、ゴミ袋で 30 袋以上</p>

漂着ゴミの実態	実施体制の実態
<p>回収ゴミ総容量： 回収ゴミ総重量： 回収作業の範囲： 回収ゴミの内訳： 1. プラスチック類； 2. ゴム類； 3. 発泡スチレン類； 4. 紙類； 5. 布類； 6. ガラス陶磁器類； 7. 金属類； 8. その他の人工物； 9. その他（自然物）；</p> <p>発生源の内訳： 1. 国内； 2. 国外；</p>	<p>作業に要する連携体制： 1. 市町村の関与； 2. 民間団体の関与； 3. 民間企業の関与； 4. ボランティアの関与； 5. 地元住民の関与； 6. 地元学生の関与； 7. 漁業者の関与； 8. その他；</p> <p>回収に要する資材の手配： 1. 資材品目； 2. 調達方法； 3. 調達先； 4. 手配者； 5. 経費負担；</p> <p>回収に要する機材の手配： 1. 機械品目； 2. 調達方法； 3. 調達先； 4. 手配者； 5. 経費負担；</p> <p>回収に要する人材の手配： 1. 役割分担； 2. 作業主体； 3. 募集方法； 4. 手配者； 5. 経費負担；</p>
ゴミ処理の実態	
<p>現地処理量： 1. 焼却； 2. 埋設； 3. 再利用； 4. 減容化；</p> <p>現地外処理量： 1. 搬出先； 2. 搬出方法； 3. 搬出量； 4. 処理方法；</p>	
<p>環境配慮事項：</p>	